

平成 19 年度

エネルギー対策特別会計財務書類
(電源開発促進勘定)
(文部科学省分)

電源開発促進勘定（文部科学省）

貸借対照表

（単位：百万円）

	前会計年度 （平成19年 3月31日）	本会計年度 （平成20年 3月31日）		前会計年度 （平成19年 3月31日）	本会計年度 （平成20年 3月31日）
< 資産の部 >			< 負債の部 >		
現金・預金	35,059	9,342	未払金	0	0
未収金	2	2			
他会計繰戻未収金	13,600	13,600			
貸倒引当金	△ 1	△ 1			
有形固定資産	6,420	8,436			
国有財産（公共用 財産を除く）	98	98	負債合計	0	0
建物	69	65			
工作物	29	32	< 資産・負債差額の部 >		
物品	6,321	8,337	資産・負債差額	499,640	434,527
出資金	444,560	403,148			
資産合計	499,641	434,528	負債及び資産・ 負債差額合計	499,641	434,528

電源開発促進勘定（文部科学省）

業務費用計算書

（単位：百万円）

	前会計年度	本会計年度
	（自 平成18年4月1日） （至 平成19年3月31日）	（自 平成19年4月1日） （至 平成20年3月31日）
補助金等	28,913	26,568
委託費	21,351	20,182
独立行政法人運営費交付金	99,848	104,456
拠出金	439	503
庁費等	78	67
その他の経費	40	66
減価償却費	2,134	2,291
貸倒引当金戻入額	△ 1	△ 0
資産処分損益	0	309
本年度業務費用合計	152,804	154,444

電源開発促進勘定（文部科学省）

資産・負債差額増減計算書

（単位：百万円）

	前会計年度	本会計年度
	（自 平成18年4月1日） （至 平成19年3月31日）	（自 平成19年4月1日） （至 平成20年3月31日）
I 前年度末資産・負債差額	595,371	499,640
II 本年度業務費用合計	△ 152,804	△ 154,444
III 財源	139,586	138,806
1 自己収入	411	306
その他の財源	411	306
2 目的税等収入	139,175	-
電源開発促進税収入	139,175	-
3 他会計（勘定）からの受入	-	138,500
一般会計からの受入	-	138,500
IV 無償所管換等	1,212	4,617
V 資産評価差額	△ 83,724	△ 41,412
VI その他資産・負債差額の増減	-	△ 12,680
VII 本年度末資産・負債差額	499,640	434,527

電源開発促進勘定（文部科学省）

区分別収支計算書

（単位：百万円）

	前会計年度 (自 平成18年4月1日) (至 平成19年3月31日)	本会計年度 (自 平成19年4月1日) (至 平成20年3月31日)
I 業務収支		
1 財源		
その他の収入	411	307
電源開発促進税収入	139,175	-
一般会計からの受入	-	138,500
前年度剰余金受入	59,743	35,059
前年度剰余金受入（経済産業省へ振替）	-	△ 12,680
財源合計	199,329	161,186
2 業務支出		
(1) 業務支出（施設整備支出を除く）		
補助金等	△ 28,913	△ 26,568
委託費	△ 21,351	△ 20,182
独立行政法人運営費交付金	△ 99,848	△ 104,456
拠出金	△ 439	△ 503
一般会計への繰入	△ 13,600	-
庁費等の支出	△ 77	△ 67
その他の支出	△ 40	△ 66
業務支出（施設整備支出を除く）合計	△ 164,270	△ 151,843
業務支出合計	△ 164,270	△ 151,843
業務収支	35,059	9,342
II 財務収支		
財務収支	-	-
本年度収支	35,059	9,342
翌年度歳入繰入	35,059	9,342
本年度末現金・預金残高	35,059	9,342

注 記

1 重要な会計方針

(1) 減価償却の方法等

① 有形固定資産

国有財産（公共用財産を除く）については、国有財産台帳の価格改定に適用される耐用年数に基づく定率法によっている。

物品については、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に定める耐用年数に基づく、残存価額を取得原価の10%とした定額法によっている。

(2) 出資金の評価基準及び評価方法

① 市場価格のないもの

全て「国有財産法」の規定により政府出資等として管理されている出資金であり、会計年度末における国有財産台帳価格によって評価している。

(3) 引当金の計上基準及び算定方法

① 貸倒引当金

履行期限到来等債権等の特定の債権については、個別に債権ごとの回収可能性を勘案した回収不能見込額を計上している。

(4) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

② 前会計年度計数の計上方法

前会計年度の計数は、本特別会計の本勘定に対応する「特別会計に関する法律」附則第66条の規定による廃止前の電源開発促進対策特別会計電源立地勘定及び電源利用勘定の平成18年度の計数を組み替えて計上している。

2 翌年度以降支出予定額

(1) 歳出予算の繰越し

歳出予算の繰越しに係る翌年度の支出予定額 351百万円

(2) 国庫債務負担行為

国庫債務負担行為による翌年度以降に係る支出予定額 5,988百万円

3 追加情報

(1) 出納整理期間

本勘定は出納整理期間が設けられており、出納整理期間中の現金の受払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としている。

(2) 業務費用計算書における収益の計上

「貸倒引当金戻入額」において、貸倒引当金の戻入額（貸倒引当金減少額）0百万円が計上されている。

(3) 表示科目の説明

① 貸借対照表

ア 資産の部

・「現金・預金」には、日本銀行預金を計上している。

・「未収金」には、返納金債権及び延滞金債権を計上している。

・「他会計繰戻未収金」には、「平成18年度における財政運営のための公債の発行の特例等に関する法律」第3条第1項及び第2項の規定に基づき、「特別会計に関する法律」附則第66条の規定による廃止前の電源開発促進対策特別会計電源利用勘定から一般会計に繰り入れたものについて、

将来本勘定に繰り戻されることとされている未収額を計上している。

- ・「貸倒引当金」には、未収金に対する貸倒見積額を計上している。
- ・「国有財産（公共用財産を除く）」には、国有財産台帳価格から減価償却費相当額を控除した後の価格を計上している。
- ・「建物」には、主に試験用建屋を計上している。
- ・「工作物」には、主に試験用建屋の附属設備を計上している。
- ・「物品」には、取得価格（見積価格）が50万円以上の物品について、取得価格から減価償却費相当額を控除した後の価額で計上している。
- ・「出資金」には、国有財産として管理されている政府出資のうち、政策目的をもって保有しているものを計上している。

イ 負債の部

- ・「未払金」には、消費税等に係る未払額を計上している。

② 業務費用計算書

- ・「補助金等」には、決算書の使途別分類が「補助費・委託費」に該当するもののうち、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」第2条第1項で規定する補助金等に該当するものを計上している。
- ・「委託費」には、革新的原子炉や核燃料サイクルに関する研究開発等の委託費を計上している。
- ・「独立行政法人運営費交付金」には、独立行政法人に対する運営費交付金を計上している。
- ・「拠出金」には、国際エネルギー機関の運営等に要する経費の拠出金を計上している。
- ・「庁費等」には、決算書の使途別分類が「物件費」及び「施設費」に該当するもののうち、他の科目で計上されていないものであって資産計上されていないものを計上している。
- ・「その他の経費」には、決算書の使途別分類が「旅費」及び「その他」に該当するものを計上している。
- ・「減価償却費」には、有形固定資産に係る減価償却費を計上している。
- ・「貸倒引当金戻入額」には、貸倒引当金が減少したことに伴う戻入額を計上している。
- ・「資産処分損益」には、有形固定資産の売却及び除却の処分に伴い生じた損益を計上している。

③ 資産・負債差額増減計算書

- ・「前年度末資産・負債差額」には、前年度の貸借対照表の「資産・負債差額」の額を計上している。
- ・「本年度業務費用合計」には、業務費用計算書の「本年度業務費用合計」の額を計上している。
- ・「その他の財源」には、雑収入を計上している。
- ・「電源開発促進税収入」には、「電源開発促進税法」第1条の規定に基づく電源開発促進税収入を計上している。
- ・「一般会計からの受入」には、「特別会計に関する法律」第91条第1項の規定に基づく電源開発促進税収入相当額の電源立地対策及び電源利用対策に要する費用の財源に充てるための一般会計からの受入額を計上している。
- ・「無償所管換等」には、本勘定への有形固定資産（物品）の業務委託先からの所有権移転等に伴う資産・負債差額の増減を計上している。
- ・「資産評価差額」には、国有財産の台帳価格の改定に伴う評価差額を計上している。
- ・「その他資産・負債差額の増減」には、「特別会計に関する法律」の施行に伴い、本勘定の「前年度剰余金受入」の算定方法を見直したことにより、経済産業省へ振替えることとした額を計上している。
- ・「本年度末資産・負債差額」には、本年度の貸借対照表の「資産・負債差額」の額を計上している。

④ 区分別収支計算書

ア 業務収支

- ・「その他の収入」には、雑収入を計上している。

- ・「電源開発促進税収入」には、「電源開発促進税法」第1条の規定に基づく電源開発促進税収入を計上している。
- ・「一般会計からの受入」には、「特別会計に関する法律」第91条第1項の規定に基づく電源開発促進税収入相当額の電源立地対策及び電源利用対策に要する費用の財源に充てるための一般会計からの受入額を計上している。
- ・「前年度剰余金受入」には、本勘定の前年度剰余金を計上している。
- ・「前年度剰余金受入（経済産業省へ振替）」には、「特別会計に関する法律」の施行に伴い、本勘定の「前年度剰余金受入」の算定方法を見直したことにより、経済産業省へ振替えることとした額を計上している。
- ・「補助金等」には、決算書の使途別分類が「補助費・委託費」に該当するもののうち、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」第2条第1項で規定する補助金等に該当する支出額を計上している。
- ・「委託費」には、革新的原子炉や核燃料サイクルに関する研究開発等の委託費を計上している。
- ・「独立行政法人運営費交付金」には、独立行政法人に対する運営費交付金を計上している。
- ・「拠出金」には、国際エネルギー機関の運営等に要する経費の拠出金を計上している。
- ・「一般会計への繰入」には、「平成18年度における財政運営のための公債の発行の特例等に関する法律」第3条第1項の規定に基づく一般会計への繰入額を計上している。
- ・「庁費等の支出」には、決算書の使途別分類が「物件費」及び「施設費」に該当の支出のうち、施設整備支出に計上されないもので他の科目で計上されていないものを計上している。
- ・「その他の支出」には、決算書の使途別分類が「旅費」及び「その他」に該当する支出を計上している。
- ・「業務収支」には、財源合計から業務支出合計を控除した額を計上している。

イ 本年度収支以下の区分

- ・「本年度収支」には、業務収支と財務収支を合計した額を計上している。
- ・「翌年度歳入繰入」には、本年度収支の額を計上している。
- ・「本年度末現金・預金残高」には、「翌年度歳入繰入」の額を計上している。計上額は、貸借対照表の現金・預金と一致する。

(4) その他特別会計財務書類の内容を理解するために特に必要と考えられる情報

- ① 百万円未満切り捨てのため、合計が一致しないことがある。
- ② 百万円未満の計数がある場合には「0」で表示し、該当計数が皆無の場合には「-」で表示している。
- ③ 重要な過年度の会計処理の誤謬の修正

一般会計への繰入金で繰入金に相当する金額が繰り戻されることが法令等により規定されているものについて、前年度業務費用に計上していたが資産計上すべきであったため、遡及して修正を行った。この修正により前年度の貸借対照表において、他会計繰戻未収金が13,600百万円増加し、資産・負債差額が同額増加している。また、前年度の業務費用合計が13,600百万円減少している。

附属明細書

1 貸借対照表の内容に関する明細

(1) 資産項目の明細

① 現金・預金の明細

(単位：百万円)

内容	本年度末残高
政府預金（日本銀行預金）	9,342
合計	9,342

② 未収金の明細

(単位：百万円)

内容	相手先	本年度末残高
返納金債権	民間団体	1
延滞金債権	民間団体	1
合計		2

③ 貸倒引当金の明細

(単位：百万円)

区分	貸付金等の残高			貸倒引当金の残高			摘要
	前年度末残高	本年度増減額	本年度末残高	前年度末残高	本年度増減額	本年度末残高	
未収金							履行期限到来等債権の特定の債権については、個別の債権ごとの回収可能性を勘案した回収不能見込額を計上している。
履行期限到来等債権	2	△ 0	2	1	△ 0	1	
合計	2	△ 0	2	1	△ 0	1	

④ 固定資産の明細

(単位：百万円)

区分	前年度末残高	本年度増加額	本年度減少額	本年度減価償却額	評価差額（本年度発生分）	本年度末残高
(有形固定資産)						
国有財産（公共用財産除く）	98	3	-	4	-	98
行政財産	98	3	-	4	-	98
建物	69	-	-	4	-	65
工作物	29	3	-	0	-	32
物品	6,321	4,613	310	2,286	-	8,337
合計	6,420	4,617	310	2,291	-	8,436

⑤ 出資金の明細

ア 出資金の増減の明細

(単位：百万円)

法人名等	前年度末残高	評価差額の戻入	本年度増加額	本年度減少額	評価差額（本年度発生分）	強制評価減	本年度末残高
○独立行政法人							
日本原子力研究開発機構							
（電源利用勘定）	444,560	83,724	-	-	△ 125,136	-	403,148
合計	444,560	83,724	-	-	△ 125,136	-	403,148

イ 市場価格のない出資金の純資産額等の明細

(単位：百万円)

出資先	資産 (A)	負債 (B)	純資産額 (C=A-B)	資本金 (D)	特別会計から の出資累計額 (E)	出資割合 (F=E/D) %	純資産額に よる算出額 (G=C×F)	貸借対照表計 上額 (国有財 産台帳価格)	使用財務諸表
○独立行政法人									
日本原子力研究開発機構									
(電源利用勘定)	506,349	91,008	415,341	544,263	528,285	97.06%	403,148	403,148	法定財務諸表
合計	506,349	91,008	415,341	544,263	528,285	-	403,148	403,148	

(2) 負債項目の明細

① 未払金の明細

(単位：百万円)

内容	相手先	本年度末残高
消費税等	税務署	0
合計		0

2 業務費用計算書の内容に関する明細

(1) 補助金等の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的	連結対象の 有無
電源立地等推進対策補助金	地方公共団体等	2,307	特別電源地域における科学技術の振興を促進するための特別電源所在県科学技術振興事業等に必要経費に対する補助	無
原子力発電関連技術開発費等補助金	国立大学法人等	125	原子力分野の研究等に係る人材育成に資するため、大学等における当該分野の研究環境整備に必要な経費に対する補助	無
独立行政法人日本原子力研究開発機構施設整備費補助金	独立行政法人日本原子力研究開発機構	5,081	施設整備に必要な経費に対する補助	有
電源立地地域対策交付金	地方公共団体	7,259	発電用施設等の設置が行われている地方公共団体等が実施する公共用施設整備事業等に対する交付	無
電源立地等推進対策交付金	地方公共団体等	2,868	医学や新材料開発等の放射線利用及びビーム利用や原子力用材料技術等の基盤技術に関する試験研究等に対する交付	無
原子力施設等防災対策等交付金	地方公共団体	8,925	原子力発電施設等の周辺における環境放射線の調査等に対する交付	無
合計		26,568		

(2) 委託費の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的	連結対象の有無
電源立地等推進対策委託費	独立行政法人日本原子力研究開発機構	29	我が国における核燃料サイクルの確立に向け、国民の理解と信頼が得られるようなきめ細かい広報活動等の委託	有
	民間団体等	1,859		無
	小計	1,889		
原子力施設等防災対策等委託費	独立行政法人日本原子力研究開発機構	112	各地方公共団体又は防災関係機関が行う原子力防災対策のより一層の充実を図るため、原子力施設等周辺の緊急時対策についての総合的な技術調査等の委託	有
	民間団体等	6,551		無
	小計	6,663		
発電技術等調査研究委託費	民間団体	23	原子力産業に資する人材育成の強化・充実を図るため、原子力関係学科で採用されるべき標準的なカリキュラム及び教材の開発等の委託	無
使用済核燃料再処理技術確証調査等委託費	民間団体	38	大型再処理施設保障措置試験研究において使用した施設等の解体撤去等の委託	無
軽水炉等改良技術確証試験等委託費	独立行政法人日本原子力研究開発機構	4,183	革新的原子力システムの実現に資するため、革新的原子炉や核燃料サイクルに関する研究開発等の委託	有
	民間団体等	7,334		無
	小計	11,518		
放射性廃棄物処分基準調査等委託費	民間団体	48	核燃料サイクル関連施設から発生する放射性廃棄物の処分技術開発のため、核種移動を考慮した放射能インベントリ評価システム開発の委託	無
合計		20,182		

(3) 独立行政法人運営費交付金の明細

(単位：百万円)

相手先	金額	支出目的
日本原子力研究開発機構	104,456	「独立行政法人通則法」第46条の規定により、独立行政法人の業務の財源に充てるために必要な金額の全部又は一部の交付
合計	104,456	

(4) 拠出金の明細

(単位：百万円)

名称	相手先	金額	支出目的	連結対象の有無
国際原子力機関等拠出金	国際原子力機関等	503	各国の核燃料サイクルに関する取組についての検討、放射線による障害の防止に関する調査及び技術的基準の検討等に対する拠出	無
合計		503		

3 資産・負債差額増減計算書の内容に関する明細

(1) その他の財源の明細

(単位：百万円)

款	項	相手先	金額
雑収入	雑収入		306
合計			306

(2) 無償所管換等の明細

(単位：百万円)

区分	相手先	金額	資産等の内容	所管換等の理由	備考
資産の無償所管換 (受)	独立行政法人等	4,613	物品	委託事業終了による所有権移転	
誤謬訂正		3	工作物		
合計		4,617			

(3) 資産評価差額の明細

(単位：百万円)

区分	評価差額の戻入	本年度発生額	本年度増減額	評価差額の発生原因
出資金				
(市場価格のないもの)	83,724	△ 125,136	△ 41,412	国有財産台帳の価格改定
合計	83,724	△ 125,136	△ 41,412	

(4) その他資産・負債差額の増減の明細

(単位：百万円)

区分	相手先	金額
前年度剰余金	経済産業省	△ 12,680
合計		△ 12,680

4 区分別収支計算書の内容に関する明細

(1) その他の収入の明細

(単位：百万円)

款	項	相手先	金額
雑収入	雑収入		307
合計			307